

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【公開番号】特開 2018-62589 (P2018-62589A)

【公開日】平成 30 年 4 月 19 日 (2018.4.19)

【年通号数】公開・登録公報 2018-015

【出願番号】特願 2016-202342 (P2016-202342)

【国際特許分類】

C 0 8 L 83/07 (2006.01)

C 0 8 K 3/36 (2006.01)

C 0 8 L 83/04 (2006.01)

C 0 8 L 83/05 (2006.01)

C 0 8 K 3/08 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 83/07

C 0 8 K 3/36

C 0 8 L 83/04

C 0 8 L 83/05

C 0 8 K 3/08

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 14 日 (2019.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 0 】

前記シリカ ( E ) は乾式シリカであることが好ましい。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 8 】

【表 1】

測定項目	単位	実施例 1	実施例 2	比較例 1	比較例 2
粘度	P a ・ s	1600	2000	1100	1800
硬さ(タイプ A デュロメーター)	—	53	53	50	54
引裂き強さ (常温)	k N / m	40	40	40	40
引裂き強さ ( 1 2 0 ° C )	k N / m	30	25	14	12
耐亀裂成長試験 条件①: 20% 伸長、 150°C x 5 日間放置後	—	亀裂成長 なし	—	破断	—
耐亀裂成長試験 条件②: 30% 伸長、 130°C x 1 日間放置後	—	—	亀裂成長 なし	—	破断

表 1 によれば、実施例 1 と比較例 1、および実施例 2 と比較例 2 との比較により明瞭に示されているように、実施例 1、比較例 1、実施例 2 および比較例 2 において、硬さおよび常温での引き裂き強さには違いはないが、高温下での引き裂き強さ、および高温下での耐亀裂成長試験については、実施例 1 は比較例 1 よりも、実施例 2 は比較例 2 よりも顕著に

優れていることが判明している。